



SAP Ariba 

# 機能の概要

## 受信通信の相互 TLS 認証証明書を設定

Rajesh Shastry/Andy Rubinson、SAP Ariba  
一般提供予定: 2021 年 8 月

CONFIDENTIAL

# 機能の概要

## 説明: 受信通信の相互 TLS 認証証明書を設定

### 今までの課題

SAP Ariba アプリケーションでは、最近まで、受信呼び出し用としてユーザー ID/パスワードおよび Web サービスセキュリティに基づく認証が使用されていました。この認証では、外部システムとの通信についてはセキュリティが確保されますが、ユーザー ID/パスワード認証の証明書に脆弱性がある場合に問題が発生します。また、Web サービスのセキュリティ認証で証明書への署名プロセスを完了するために追加のコーディングが必要となっています。現時点では、クライアントとサーバー間の通信についてセキュリティおよび信頼性の両方を双方向で保証できる認証が提供されていないため、お客様が潜在的なセキュリティ違反にさらされるリスクがあります。

### 対象ソリューション

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing
- SAP Ariba Invoice Management
- SAP Ariba Sourcing
- SAP Ariba Contracts
- SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance
- SAP Ariba Strategic Sourcing Suite

### SAP Ariba で問題解決

この機能を使用すると、外部システムからの受信通信用の相互 TLS 認証の証明書を設定することができます。各組織の管理者は、証明書に関する設定を新規に作成したり、保存した設定を新しい管理者ページで検索したりすることができます。この新しいページが追加されたことに加えて、管理者向けのエンドポイント設定ページも、エンドポイント用の相互 TLS 認証の設定を行えるように機能が強化されています。

### 関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様が設定する必要があります。

### 主なメリット

- クライアント/サーバー間の双方向の通信でセキュリティおよび信頼性が保証されます。
- Web サービスのセキュリティ認証に必要な追加コーディングの間の費用が削減されます。
- SAP Ariba アプリケーションへのアクセスのセキュリティが改善されます。
- 設定済みの相互 TLS 証明書から、エンドポイント設定で使用する証明書を選択することができます。
- 特定の SAP Ariba アプリケーションに対する証明書設定を作成および管理できます。これにより、相互 TLS を使用して設定するアプリケーションを選択できるようになります。
- 高い拡張性が提供されます。
- 予備の証明書を追加することができます。

### 前提条件と制限事項

- 相互認証には、有効な認証局 (CA) によって発行されたクライアント証明書が使用されます。
- 有効なクライアント証明書がサーバーのトラストストアに保存されていることを確認しておきます。

# 機能の概要

## 説明: 受信通信の相互 TLS 認証証明書を設定

### 機能の詳細情報 - 簡単な説明

#### 受信 SOAP Web サービスの相互 TLS 認証

- 相互認証を有効にすると、クライアント (SAP Ariba ソリューション) とサーバー (外部システム) との間で、相互認証のために相互 TLS 1.2 接続の証明書が交換されます。
- 顧客管理者は、SAP Ariba アプリケーションごとに新しい証明書設定を作成することができます。
- 顧客管理者は、設定に本来の証明書を追加できます。また、その設定の一部として、本来の証明書に問題が発生した場合に使用される予備の証明書を追加することもできます。
- 顧客管理者は、新しい証明書の貼り付けまたはアップロードを行うことができます。
- 有効な認証局によって発行された有効期限が切れていない証明書をアップロードできます。
- 顧客管理者は、受信統合のエンドポイント設定で相互認証用として設定されている証明書を選択することができます。

# 機能の概要

説明: 受信通信の相互 TLS 認証証明書を設定

## 機能の詳細情報 - 相互 TLS 認証証明書設定の作成

ナビゲーションパス: [統合マネージャ] → [相互 TLS 設定]

顧客管理者は、以下の処理を行うことができます。

1. **検索:** 特定のアプリケーションに対して設定されている既存の受信/送信証明書を検索します。
2. **新規作成:** 受信用の証明書としての特定のアプリケーションの証明書設定を新規作成します。
3. **表示:** 特定のアプリケーションに対して設定されている既存の受信/送信証明書を表示します。
4. **編集:** 特定のアプリケーションに対して設定されている既存の受信証明書を編集します。

The screenshot shows the SAP Ariba Mutual TLS Configuration page. The left sidebar contains a navigation menu with categories like Site Manager, Integration Manager, and User Manager. The main content area is titled 'Mutual TLS Configuration' and includes search filters for Name, Type (No Choice, Inbound, Outbound), and Application Name. A table lists existing configurations for TestSYS1 and TestSYS2. Callouts 1 through 4 highlight the Search filters, the 'Create New' button, the table rows, and the Edit buttons respectively.

Name	Type	Application Name
TestSYS1	Inbound	App8
TestSYS2	Outbound	Buyer

# 機能の概要

## 説明: 受信通信の相互 TLS 認証証明書を設定

### 機能の詳細情報 - 相互 TLS 認証証明書設定の作成

ナビゲーションパス: [統合マネージャ] → [相互 TLS 設定] → [新規作成]

顧客管理者は、特定のアプリケーションに対して新しい証明書設定を作成することができます。これには以下を入力します。

- **名前:** 証明書設定の名前を入力します。これは一意である必要があります。
- **種類:** 通信の種類として [受信] を選択します。
- **アプリケーション名:** 証明書設定を作成するアプリケーションの名前です。
- **本来の証明書:** 必須です。管理者は新しい証明書を貼り付けるかアップロードできます。
- **予備の証明書:** オプションです。本来の証明書が使用できない場合に使用されます。管理者は、証明書を張り付けるかアップロードできます。
- **編集:** 特定のアプリケーションに対して設定されている既存の証明書を編集します。

SAP Ariba

HOME CONTRACTS INVOICING ADMINISTRATION

### Mutual TLS Configuration - Create

Configure mutual TLS authentication for Inbound or Outbound connections.

General

Fields marked with \* are required.

Name: \*

Type: \* Inbound

Application Name: \* SM

Primary Certificate

Paste your Base64 encoded certificate here. It must begin with "-----BEGIN CERTIFICATE-----" and end with "-----END CERTIFICATE-----".

Primary Certificate: \*

Choose File No file chosen

Issuer Name:

Expiry Date:

Backup Certificate

Paste your Base64 encoded certificate here. It must begin with "-----BEGIN CERTIFICATE-----" and end with "-----END CERTIFICATE-----".

Backup Certificate:

Choose File No file chosen

Issuer Name:

Expiry Date:

Save Cancel



# 機能の概要

説明: 受信通信の相互 TLS 認証証明書を設定

## 機能の詳細情報 - 受信統合エンドポイントに対する相互 TLS 認証証明書の設定

ナビゲーションパス: [統合マネージャ] → [エンドポイント設定]

顧客管理者は、新しいエンドポイント設定を作成するか、既存のエントリを編集することにより、相互 TLS 認証を設定することができます。

The screenshot shows the SAP Ariba Administration console interface. The top navigation bar includes 'SAP Ariba', 'Go To Dashboard', 'Return to Service Manager', 'Acting as: Customer Support Admin', 'Customize', 'Help', and 'Super User'. The main navigation menu on the left lists various management areas, with 'End Point Configuration' highlighted under 'Integration Manager'. The main content area is titled 'End Point Configuration' and contains a search filter section with an 'End Point' input field and radio buttons for 'No Choice', 'Inbound', and 'Outbound'. Below the search section is a table listing existing end points with columns for Name, Type, and an Edit button. A 'Create New' button is located at the bottom left of the table area.

Name	Type	
BasicOut	Outbound	Edit
cadsadas	Inbound	Edit
dasdasd	Inbound	Edit
dhasjdas	Inbound	Edit
fasfd	Inbound	Edit
mutual	Inbound	Edit
mutual_1	Inbound	Edit
mutualauth	Inbound	Edit
mutualauth1	Inbound	Edit
RemittancePull	Inbound	Edit

# 機能の概要

説明: 受信通信の相互 TLS 認証証明書を設定

## 機能の詳細情報 - 受信統合エンドポイントに対する相互 TLS 認証証明書の設定

ナビゲーションパス: [統合マネージャ] → [エンドポイント設定] → [新規作成]

既存の [エンドポイント設定] ページに、クライアント認証を選択するための [相互認証が必要] オプションが追加されています。

[相互認証が必要] の通常設定の値は [いいえ] です。この値を [はい] に設定すると、管理者は設定済みの相互認証証明書を選択することができます。

End Point Configuration - Create End Point

General

Configure inbound and outbound integration end points. Optionally define a Web Service

Name: \*

Type: \*  Inbound  Outbound ⓘ

Mutual TLS Authentication

Specify whether the endpoint requires mutual TLS authentication.

Requires Mutual Authentication:  Yes  No ⓘ

Inbound Certificate Configuration: (no value) ✓

Choose Value for Inbound Certificate Configuration

Name ↑	Application Name	Expiration Date	Issuer Name	
abcd1	S4	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
abcdefg	SM	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
abcdew	Buyer	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
ffdsfd	Buyer	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
final_1	SM	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
final2	SM	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
final3	Buyer	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
isfsdfnv	SM	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select
gdhgfh	Buyer	Fri, 1 Oct, 2021	CN=c02y108bjgh5	Select

Done

フォローをお願いします。



[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2021 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、[www.sap.com/copyright](http://www.sap.com/copyright) をご覧ください。